

小倉・上田、見事揃っての表彰台に！ 小倉は3戦連続ポールポジションから3連勝、上田もデビューレースで3位獲得！

S-FJ 第3戦

6月18日(日)
ツインリンクもてぎ
4.801km



ル・ボーセモータースポーツが挑むカテゴリーのひとつ、スーパーFJのもてぎシリーズ第3戦が、6月18日(日)にツインリンクもてぎ(栃木県)にて開催され、小倉祥太と上田裕也が出場した。第2戦から2ヶ月のインターバルを経て、エントリー台数も9台に増えた今大会は、上田にとってはデビューレース、小倉は3連勝が懸った大会となる。ライバルたちを制し、ワンツーフィニッシュを目指す。

予選

6月18日(日)
天候/曇り
コース状況/ドライ

金曜日から始められた練習は、時折強い雨に見舞われ一時中断となる場面もありながら、ドライ・ウェット両方で走行をし、梅雨時期の天候の変化に対応した内容となった。練習の中でも小倉は、コンスタントに好タイムを記録し、順調な仕上がり。デビューレースとなる上田も2戦を経験した小倉をコンマ2秒追うタイムを記録し、ほぼ互角の速さを見せた。

日曜日は曇りながら雨粒を落とさず持ちこたえ、涼しい気候での決勝日となった。この日の予選は9時15分から20分間。コースオープンし、ライバルたちを見送った一番最後に小倉・上田ともにコースイン。二人は虎視眈々とアタックのタイミングを狙った。まず、4周目に上田が2分5秒453でトップに躍り出ると、6周目に小倉が4秒917を記録し、上田を抜き返す。そして、その翌周に上田が4秒862を記し、一進一退の争いに。決着は、最終周に小倉が4秒558を叩き出したことで、上田を逆転し3戦連続のポールポジション獲得。一方の上田も小倉とコンマ3秒差の2番手で予選を終え、決勝グリッドの最前列をル・ボーセの2台で独占することとなった。

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCRONATIC
byAW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

ATS
ATSUSHI CO., LTD.

カーエース

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中倉スプリング

栃木トヨタ

トヨタレノヴァリース栃木

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode

TAMACHI

PETRONAS
SYNTIUM

FFC

ODYSSEY

ThreeBond

BILION

シーシーアイ

SEV

Sakata Designers

TAKATA

TOYOMO

LANDS'END

RAVS

道の駅もてぎ

PRIMO

Rapport

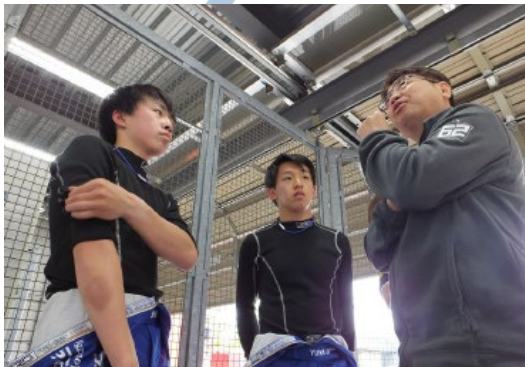
SHARING ONE VISION

決勝

6月18日(日)
天候/曇り
コース状況/ドライ

決勝は、グリッドの最前列に堂々とル・ボーセの2台が並び、勝負の時を待った。そして注目されたスタートは、2番グリッドの上田が抜群のスタートダッシュを決め、1コーナーに差し掛かるまでに一気に小倉を抜き去るも3コーナーでコースアウトを喫し最下位までポジションダウンしてしまう。しかし、ここから上田の巻き返しが始まる。上田は、2周目には3台をパスし6番手に。その後も前方を走るライバルたちを捉え、5周目の2コーナー立ち上がりから続く3コーナーまでで一気に2台を抜き去り4番手まで取り戻した。そして、その翌週の90度コーナーで3番手のインを突き見事3番手に躍り出て、表彰台圏内。一方の小倉は、1周目から後続を引き離さんばかりの走りで周回を重ね、圧倒的な速さと安定さを見せた。レース終盤には、2番手も寄せ付けぬペースで独走状態を築き、3秒以上もの差をつけ3連勝を飾った。上田もスタートの良さと最下位から3位まで巻き返すという速さを見せ、デビューレースで表彰台獲得という健闘を見せた。

今大会を通して、今後のライバルはチームメイト同士になることが予想されるが、切磋琢磨し、互いに刺激し合いながら経験を積み、今後二人がどのように成長していくかが益々期待されるレースとなった。



SHARING ONE VISION

チーム監督
坪松唯夫
Tadao Tsubomatsu
COMMENT

2人とも練習から好調で、良い流れで予選を迎えられた。前日に比べ気温が低かったせいかタイヤの空気圧の上りが遅く、ベストなタイミングでアタック出来た訳ではないが、2人とも良いタイムを出したと思う。決勝は事実上、上位3人の戦いになることは予想されたが、上田のホールショットは見事だった。ただ、経験の浅さがレース中のミスを誘発してしまった。優勝した小倉は、逃げるレースで誰もが相手にならない速く強いレースを見せてくれた。

Driver
小倉祥太
Shota Ogura
COMMENT

予選は、最初から最終周を狙ってアタックしようと考えていました。その狙い通り、上手く最後に合わせて持って行けましたし、結果としてポールポジションも獲得できたので良かったです。決勝は、なんとか勝ったという気持ちです。スタートで失敗し、焦ってしまい自分的には序盤はなかなか上手くいきませんでした。レース中盤以降は、冷静に走れましたし、マシンに合わせて走れたと思います。今後はスタートを決めることと、序盤のペースを改善しなくては行けないので、課題をクリアできるように練習していきたいです。次戦は、なんとか勝ったではなく、圧勝したいと思います。

Driver
上田裕也
Yuya Ueda
COMMENT

練習から予選・決勝をシミュレートしたメニューをさせてもらいましたが、予選はその練習の時よりもいいタイムを出せたので良かったです。ただ、中盤から後半に向けてタイムアップを狙って走りましたが、後半は上手くタイムを出せませんでした。まだまだタイヤの使い方など改善しないと行けないです。決勝は、スタートで上手く前にいけたんですけど、チームメイトの小倉選手を意識しすぎて焦ってしまい、それが3コーナーのコースアウトに繋がってしまいました。その後は、とにかく追いつこうと必死で、3番手まで戻ることができましたが、悔しさが残るレースとなりました。次は焦らず、課題を克服して勝ちたいです。

スーパーFJもてぎ選手権 第3戦 レース結果

順位	車番	ドライバー	車名	予選順位
1	62	小倉祥太	ル・ボーセフォーミュラアカデミーPFC	1
2	77	荒川 麟		3
3	63	上田裕也	ル・ボーセフォーミュラアカデミーPFC	2

シリーズポイントランキング

順位	ドライバー	ポイント
1	小倉祥太	60
2	小林文晃	31
3	佐藤セルゲイ・イチ	22
9	上田裕也	12

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCROMATIC
by AWW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

Ars
ART SYSTEMS CO., LTD.

カースター

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中康スプリング

橋本トヨタ

トヨタレンタリース栃木

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode